

今週のフレーズ&ワード

weather the storm

～困難を乗り越える～

最近、欧米の友人・知人とのやり取りで感じるのは、日本より厳しい状況に置かれていても、彼らのコロナと向き合う姿勢が前向きで明るく強いことです。

これは、国のリーダーが、最前線にいる医師や看護師に対する謝意を真っ先に示しながら、スピード感を持って対策を決定・実行し、国民に強いメッセージを発信していることが背景にあるのでしょう。わが国の現状を見るにつけ、リーダーのあるべき姿とは何か、考えさせられますね。

We will weather this unprecedented storm, no matter how long it takes.
どれだけ時間がかかろうとも、この前例のない困難を乗り越えるのです。

weather the storm (困難を乗り越える) というフレーズです。Weather には他動詞として「厳しい状況を何とか乗り越える」という用法があります。storm は「嵐」ですが、ここでは比喩的に、「嵐のような状況→困難」。weather the storm of criticism なら「(嵐のような) 厳しい批判を乗り越える」です。

no matter how～は「たとえ～であっても」。I can't marry you no matter how you love me.なんていう映画のセリフ、聞いたことありそうですね。

The question is how the hospitality industry will weather this downturn.
問題は、ホスピタリティ産業がどう下降局面を乗り越えるかです。

weather は、storm 以外との名詞とも結びついて「乗り越える」という言い回しになります。例えば、weather the crisis/slump (危機・スランプを乗り越える)、weather difficult conditions/a difficult winter (難しい状況・厳しい冬を乗り越える) のいう感じです。

downturn は景気などの下降局面。反対の upturn (上昇局面) とセットで覚えましょう。

I don't know why, but I'm a bit under the weather today.
よくわからないんですが、今日はちょっと体調がよくないです。

be under the weather (体の具合が悪い、元気が出ない) というフレーズです。この weather は「乗り越える」とは関係ない、名詞としての用法です。feel を使った I'm feeling under the weather. という言い回しもあります。weather もなかなか奥が深いですね。

単語・熟語チェック

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> unprecedented 前例のない | <input type="checkbox"/> no matter how～ どれだけ～でも |
| <input type="checkbox"/> food-service industry 外食産業 | <input type="checkbox"/> downturn 下降局面 ⇔ upturn 上昇局面 |